

令和3年度研修会

○第1回研修会

今年度の第1回研修会は、令和3年8月5日に医学博士の平松類氏をお迎えし、『医学的に正しい高齢者との付き合い方・接し方』をテーマに、オンライン講演会として開催しました。

講演では、高齢者が安全に能力を発揮し活躍できる環境にするにはどんな視点が必要なのか、これまでのべ10万人以上の高齢者の診察にあたり高齢者の体の変化に詳しい平松氏より、働き方の社内共有の大切さや、視力や体の変化など高齢者雇用の問題点や工夫すべき点を知ることができ、高齢者が活躍できる環境整備のあり方について大変参考になりました。

神奈川西部職業能力開発推進協議会
オンライン講演会

医学的に正しい高齢者との付き合い方・接し方

～医学的視点による高齢者の能力を発揮してもらう環境作り～

少子高齢化が急速に進む中、企業では、働く意欲がある誰もが年齢にかかわらずその能力を発揮できるよう、高齢者が活躍できる環境整備を図ることが必要となっています。

高齢者が安全に能力を発揮し活躍できる環境にするにはどんな視点が必要なのか、のべ10万人以上の高齢者と接してきたおり、高齢者が多い眼科医として勤務してきたことから、高齢者の症状や悩みに精通している平松氏より、ご講演いただきます。

医学博士
講師 平松 類 氏



○第2回研修会

令和4年2月25日に講師 横浜高等学校硬式野球部元監督 渡辺元智氏より「高校野球と人生～成功より失敗、栄光より挫折から学ぶ～」の演題でリモートでのご講演をいただきました。



横浜高等学校硬式野球部元監督 渡辺 元智 氏

講演では、高校野球の名門校であっても指導していく中で、いろいろと失敗したと感ずることも多かったそうです。その中で、気づいたのが「栄光より挫折」、「勝利より敗北」です。挫折や敗北から「何を学ぶか。学ぼうとするか」、自分を成長させる糧を見出すことが大切であり、どんなチームや組織においても重要なのは人です。目標をしっかりと持ち学び続ける姿勢、失敗を恐れずに挑戦し続ける大切さ、人の育て方について学ぶことができました。